



タイトル「**2022年度危機管理学部(公開)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1728		
科目名	日本語Ⅷ		
担当教員	縣 正子		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	金 5		
講義室	国際交流センター	単位区分	必,選必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	語学		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D〔市民的素養と市民的教養〕市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観、動機を動員することができる。 DP2-A〔日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢〕地球的視点で物事を多面的に捉え、日本の精神文化を理解し異文化との交流の重要性を認識することができる。 DP4-1〔表現力・分析力〕文章表現を扱いつつ、情報の収集と取舍選択、分析を円滑に行うことができる。 DP6-k〔表現力・対話力、ライティングコミュニケーション、オーラルコミュニケーション〕文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 A1 文化的自己意識、文化的多様性への理解（10%） A2 異文化適応、言語的コミュニケーション（10%） D1 文化的素養、知識の獲得、市民参加のためのコミュニケーション、市民的行動と省察と参加（40%） I1 内容理解、文理構造の分析、解釈、読者の声（15%） I2 表現、コミュニケーション（5%） K1 ライティング・コミュニケーション、目的及び文脈の理解、構成、内容の展開（10%） K2 オーラル・コミュニケーション、内容の構造化、言葉選び、話しの運び（10%）		
教員の実務経験	なし		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進期期～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	映像や記事の内容を正確に把握するだけでなく、内容に対する自分の意見を日本語で述べられるようにします。さらに内容を要約して伝える力を養います。授業形態は演習により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（ライブ配信型・オンデマンド型）を取り入れます。 （キーワード）聴解、読解、漢字、コミュニケーション。		
授業の趣旨	■副題 大学での学習や日常生活を行うための日本語の知識と4技能（聞く・話す・読む・書く）の上級レベルを学ぶ。 ■授業の目的 大学での学習と生活を円滑かつ効率的に行えるために、講義受講・日常生活を行うための4技		

	能の日本語力を身につけ、様々な場面での具体的なコミュニケーションができるように身につける。 上級レベルの日本語能力を高めるために、学んだ日本語を使って、日本人学生と交流したり、表現力を修得する。 日常生活や大学生活でのコミュニケーション能力を高めるために、聞く・話す・読む・書くの4つの技能について何度も繰り返ししながら修得する。 ■授業のポイント 外国語はインプット・アウトプットを何度も繰り返すことがとても大事です。毎日予習・復習を行うことで多角的なコミュニケーション能力を身につけるようにします。								
総合到達目標	■グローバルパーソンとしてコミュニケーションできる中級レベルの日本語能力を高めるために、日本語の中級レベルの知識を習得する。また、文章及び口頭で自らの考えを的確に表現し、様々な場面での具体的なコミュニケーションができるように修得する。 ・日本語の音韻規則や個別発音などを注意しながら文章の中で正確に発音することができる。（第2回～14回） ・短文、そして複文や重文を正確に作ることができる。（第2回～14回） ・間接話法、友達同士で使う表現、敬語などを区別しながら話すことができる。（第2回～14回） ・日常生活で使う会話が自由に話せるようになり、日常生活の様々な問題なども解決できる。（第2回～14回） ・日本語の習得と同時に日本の文化や社会について理解できる。（第2回～14回）								
成績評価方法	■授業理解確認課題2回（20%）:適用ルーブリック A1・A2・D1 （評価の観点）当該単元の授業理解度を評価します。 （フィードバック方法）授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。 ■リアクションペーパー10回（30%）:適用ルーブリック K1・K2 （評価の観点）日本語授業内容の理解度を評価します。 （フィードバック方法）授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。 ■レポート1回（50%）:適用ルーブリック K1・K2 （評価の観点）日常生活で必要とするやや簡単な表現が日本語でコミュニケーションできるかを評価します。 （フィードバック方法）授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。								
履修条件	『日本語Ⅶ』を履修した外国人留学生								
履修上の注意点	特にありません。								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンスと復習 ②授業概要 「日本語Ⅷ」の授業内容、目標、成績の評価方法などの説明をする。 「日本語Ⅴ」、「日本語Ⅶ」の全般的な復習。 ③予習（60分） シラバスに目を通す。 ④復習（60分） 授業での復習事項において理解が不十分だった箇所を再度復習する。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ Lesson1手紙文 ②授業概要 伝聞表現を用いてメールを書き、フィードバックによる修正後、発表する。 テキスト該当漢字のクイズを行い、フィードバックし、質問を受ける（A1、I2、K1、K2）。 ③予習（60分） テキストを読む。作文の内容を考える。 ④復習（60分） 授業内容について理解が不十分だった箇所及び漢字を復習する。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ Lesson2日常の出来事 ②授業概要 自分のある日の出来事について記述し、感想が書けるようにする。 フィードバックによる修正後、発表し、質問を受ける（A1、I2、K1、K2）。 テキスト該当漢字のクイズを行い、フィードバックする。 ③予習（60分） テキストを読む。作文の内容を考える。 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンスと復習 ②授業概要 「日本語Ⅷ」の授業内容、目標、成績の評価方法などの説明をする。 「日本語Ⅴ」、「日本語Ⅶ」の全般的な復習。 ③予習（60分） シラバスに目を通す。 ④復習（60分） 授業での復習事項において理解が不十分だった箇所を再度復習する。	2	①授業テーマ Lesson1手紙文 ②授業概要 伝聞表現を用いてメールを書き、フィードバックによる修正後、発表する。 テキスト該当漢字のクイズを行い、フィードバックし、質問を受ける（A1、I2、K1、K2）。 ③予習（60分） テキストを読む。作文の内容を考える。 ④復習（60分） 授業内容について理解が不十分だった箇所及び漢字を復習する。	3	①授業テーマ Lesson2日常の出来事 ②授業概要 自分のある日の出来事について記述し、感想が書けるようにする。 フィードバックによる修正後、発表し、質問を受ける（A1、I2、K1、K2）。 テキスト該当漢字のクイズを行い、フィードバックする。 ③予習（60分） テキストを読む。作文の内容を考える。
回	内容								
1	①授業テーマ ガイダンスと復習 ②授業概要 「日本語Ⅷ」の授業内容、目標、成績の評価方法などの説明をする。 「日本語Ⅴ」、「日本語Ⅶ」の全般的な復習。 ③予習（60分） シラバスに目を通す。 ④復習（60分） 授業での復習事項において理解が不十分だった箇所を再度復習する。								
2	①授業テーマ Lesson1手紙文 ②授業概要 伝聞表現を用いてメールを書き、フィードバックによる修正後、発表する。 テキスト該当漢字のクイズを行い、フィードバックし、質問を受ける（A1、I2、K1、K2）。 ③予習（60分） テキストを読む。作文の内容を考える。 ④復習（60分） 授業内容について理解が不十分だった箇所及び漢字を復習する。								
3	①授業テーマ Lesson2日常の出来事 ②授業概要 自分のある日の出来事について記述し、感想が書けるようにする。 フィードバックによる修正後、発表し、質問を受ける（A1、I2、K1、K2）。 テキスト該当漢字のクイズを行い、フィードバックする。 ③予習（60分） テキストを読む。作文の内容を考える。								

	④復習（60分） 授業内容について理解が不十分だった箇所及び漢字を復習する。
4	①授業テーマ Lesson3社会のできごと ②授業概要 関心のあるテーマを設定し、エッセイを書いて意見を述べる練習をする。 フィードバックによる修正後、発表し、質問を受ける（A1、I2、K1、K2）。 テキスト該当漢字のクイズを行い、フィードバックする。 ③ 予習（60分） テキストを読む。作文の内容を考える。 ④復習（60分） 授業内容について理解が不十分だった箇所及び漢字を復習する。
5	①授業テーマ Lesson4日常生活における問題 I ②授業概要 日常使用しているものの問題点をあげ、意見文を書く練習をする。 フィードバックによる修正後、発表し、質問を受ける（A1、I2、K1、K2）。 テキスト該当漢字のクイズを行い、フィードバックする。 ③ 予習（60分） テキストを読む。作文の内容を考える。 ④復習（60分） 授業内容について理解が不十分だった箇所、及び漢字を復習する。
6	①授業テーマ Lesson 5 お礼の手紙・メール ②授業概要 手紙文を学習に用いて、お礼の表現を学び、ライティングの練習をする。テキストの該当する漢字のクイズを行い理解度を図る(A1、D1、K1、K2)。 ③予習（60分） 授業に参加する前に、テキストの本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習（60分） 授業で学んだ表現・文型・漢字を練習する。
7	①授業テーマ Lesson 6お詫びの手紙・メール ②授業概要 手紙文を学習に用いて、お詫びの表現を学びライティングの練習をする。テキストの該当する漢字のクイズを行い理解度を図る(A1、D1、K1、K2)。 ③予習（60分） 授業に参加する前に、テキストの本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習（60分） 授業で学んだ表現・文型・漢字を練習する。
8	①授業テーマ これまでの学習内容の理解度を確認する。 ②授業概要 今まで授業で学んだことが理解できているかコメントペーパーで確認する（D1、I1、K1、K2） ③予習（60分） 今まで授業で学んだことを復習する。 ④復習（60分） わからなかった部分を再確認する。
9	①授業テーマ Lesson 7 日常生活における問題② ②授業概要 日常の出来事について書く練習をする。テキストの該当する漢字のクイズを行い理解度を図る（A1、D1、K1、K2）。 ③予習（60分） 教科書の該当する課を事前に読んでおく。 ④復習（60分） 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
10	①授業テーマ Lesson 8 日本の文化 ②授業概要 日本の文化や日本人の考え方について、説明したり意見を書く練習をする。テキストの

	該当する漢字のクイズを行い理解度を図る(A1、D1、K1、K2)。 ③予習 (60分) 教科書の該当する課を事前に読んでおく。 ④復習 (60分) 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
11	①授業テーマ Lesson 9 日常の出来事② ②授業概要 自分の日常の出来事や意見を記述する練習をする。テキストの該当する漢字のクイズを行い理解度を図る。(A1、D1、K1、K2)。 ③予習 (60分) 教科書の該当する課を事前に読んでおく。 ④復習 (60分) 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
12	①授業テーマ Lesson 10 意見文 ②授業概要 テキストの新聞の投書を学び、記述する練習をする。テキストの該当する漢字のクイズを行い理解度を図る(A1、D1、K1、K2)。 ③予習 (60分) 教科書の該当する課を事前に読んでおく。 ④復習 (60分) 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
13	①授業テーマ Lesson 11日本の天候 ②授業概要 天候や自然現象が日常生活に与える影響に関する語彙や文型を学習し、自分の意見を書く練習をする。テキストの該当する漢字のクイズを行い理解度を図る(A1、D1、K1、K2)。 ③予習 (60分) 教科書の該当する課を事前に読んでおく。 ④復習 (60分) 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
14	①授業テーマ Lesson 12 日常の出来事③ 自分の日常の出来事について書く練習をする。テキストの該当する漢字のクイズを行い理解度を図る(A1、D1、K1、K2)。 ③予習 (60分) 教科書の該当する課を事前に読んでおく。 ④復習 (60分) 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
15	①授業テーマ 日本語VIIIのまとめとしてコメントペーパーで理解度を確認する。 ②授業概要 今まで授業で学んだことが理解できているか確認したあとに、学びが出来ていないところを理解する (D1・I1・K1・K2) ③予習 (60分) 今まで授業で学んだことをノートと教科書を見てよく復習する。 ④復習 (60分) 今まで授業で学んだ表現・文型使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習しておく。習った文型を用いて300字程度の文を書く。
関連科目	日本語Ⅶ (RMGT/SSCS 1727)
教科書	『日本語N3 文法・読解まるごとマスター』Jリサーチ出版 『ゼットイ合格！日本語能力試験総合テキストN3』Jリサーチ出版
参考書・参考URL	特にありません。
連絡先・オフィスアワー	
研究比率	

